



積水化学工業株式会社
2020年度(2021年3月期)
第3四半期

決算説明会

取締役 専務執行役員
経営戦略部長
上脇 太

2021年1月28日

2020年度 第3四半期実績および 通期見通し

為替レート	2019年度			2020年度			
	3Q	4Q	下期	3Q	4Q	下期	下期計画(10月)
前提	¥106/US\$ ¥118/€	¥109/US\$ ¥121/€	¥108/US\$ ¥120/€	¥106/US\$ ¥126/€	¥104/US\$ ¥126/€	¥105/US\$ ¥126/€	¥106/US\$ ¥126/€
実績 *期中平均	¥109/US\$ ¥120/€	¥109/US\$ ¥120/€	¥109/US\$ ¥120/€	¥105/US\$ ¥125/€	-	-	

2020年度第3四半期 損益概要

- 3Qは前年並み売上を回復し、営業増益転換
- 売上、営業利益は計画を上回る
- 為替差損等(営業外損失)増、無形資産減損(特別損失)を計上

(億円)	2019年度 3Q実績	2020年度 3Q実績	増減
売上高	2,668	2,664	▲4
営業利益	167	175	+8
経常利益	174	132	▲43
親会社株主に帰属する 四半期純利益	105	76	▲28

参考 2020年度上期実績(遡及修正)

- 高機能P・エアロスペース社無形資産の確定を受け、上期までののれん暫定値に基づく償却額を遡及修正(上期営業利益を3億円増額修正)

(億円)	2019年度 上期実績		2020年度 上期実績(修正後)		増減		2020年度 上期実績(修正前)	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
高機能P	1,604	197	1,391	92	▲213	▲106	1,391	89
住宅	2,569	186	2,306	130	▲263	▲56	2,306	130
環境LL	1,132	54	962	25	▲170	▲29	962	25
メディカル	343	44	319	25	▲24	▲19	319	25
その他	24	▲53	15	▲42	▲9	+12	15	▲42
消去又は全社	▲107	▲14	▲93	▲6	+15	+7	▲93	▲6
合計	5,565	415	4,900	224	▲665	▲191	4,900	221

*高機能P=高機能プラスチックカンパニー、住宅=住宅カンパニー、環境LL=環境・ライフラインカンパニー

2020年度第3四半期累計 損益概要

■ 上期のCOVID-19影響大きく減収、各段階の利益とも減益

(億円)	2019年度 1Q-3Q実績	2020年度 1Q-3Q実績	増減
売上高	8,233	7,564	▲669
営業利益	582	399	▲183
経常利益	595	338	▲257
親会社株主に帰属する 四半期純利益	401	207	▲194

2020年度第3四半期 カンパニー別売上高・営業利益

■ 3Qは全社で計画超過。高機能P、メディカルが増益転換

- 高機能P: 想定上回る市況回復(主に自動車)と高付加価値品拡販進捗。計画を上回り増益転換
- 住宅: 住宅事業を中心とした固定費削減により、計画を上回り、前年並み営業利益水準を回復
- 環境LL: 国内非住宅向け需要回復遅れ、海外ロックダウン、航空機向けシート需要低迷により減益
- メディカル: 国内外来検査数回復遅れを、海外COVID-19検査キット拡販でカバーし増益転換。ほぼ3Q計画通り進捗

(億円)	2019年度 3Q実績 (10-12月)		2020年度 3Q実績 (10-12月)		増減		2019年度 1Q-3Q実績 (4-12月)		2020年度 1Q-3Q実績 (4-12月)		増減	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
高機能P	812	99	864	114	+52	+15	2,416	296	2,255	206	▲161	▲90
住宅	1,133	38	1,139	36	+5	▲3	3,702	224	3,445	166	▲258	▲58
環境LL	581	38	507	32	▲73	▲7	1,713	93	1,469	57	▲244	▲36
メディカル	181	22	196	23	+15	+1	523	66	515	49	▲8	▲18
その他	11	▲22	7	▲23	▲4	▲1	35	▲76	21	▲65	▲13	+11
消去又は全社	▲49	▲8	▲49	▲7	+1	+1	▲157	▲22	▲141	▲13	+15	+9
合計	2,668	167	2,664	175	▲4	+8	8,233	582	7,564	399	▲669	▲183

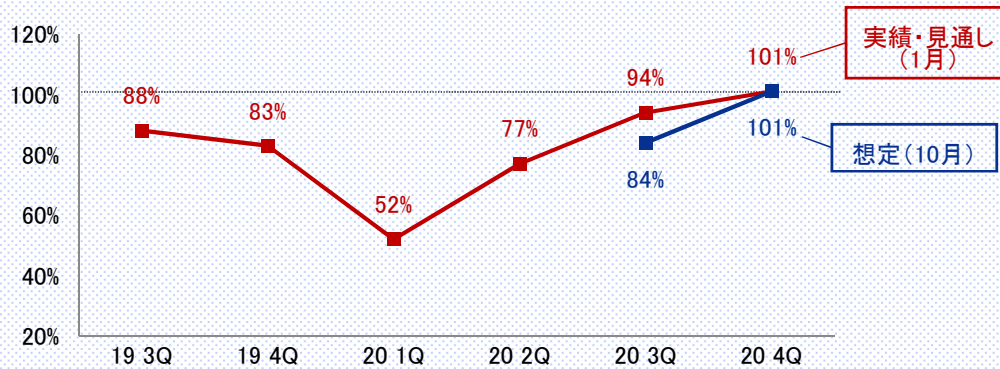
市況見通し

3Qは自動車中心に想定以上に回復も、COVID-19感染再拡大影響で4Qは鈍化する見通し

グローバル自動車生産台数

*前年同期比

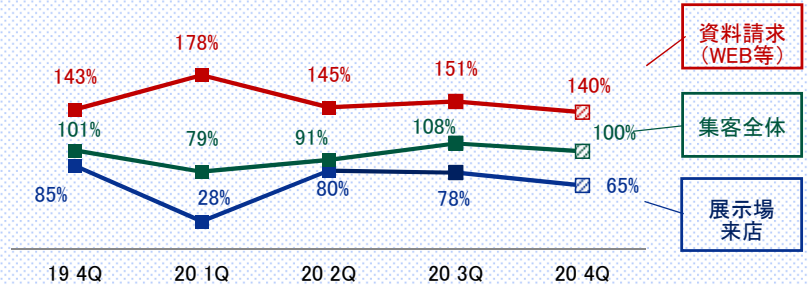
3Qはグローバルで想定上回る。4Qは、主に欧州で市中在庫増加の懸念あり



住宅・集客

*前年同期比

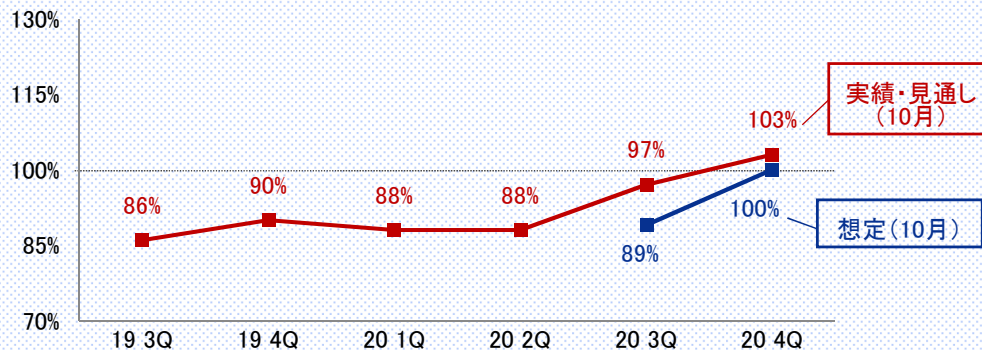
3Qは想定通りも、緊急事態宣言再発出で4Qは一時的急減見通し



スマホ出荷台数

*前年同期比

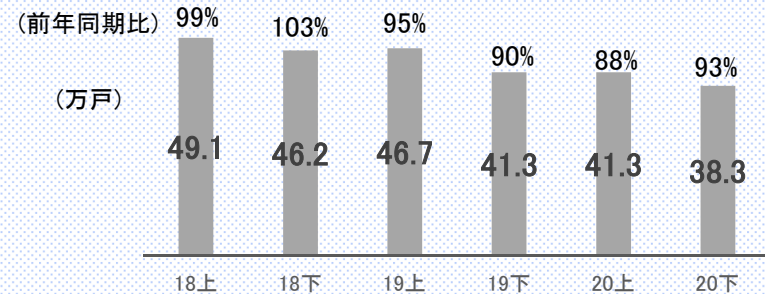
3Qは想定上回る。4Qは在庫調整による鈍化見込むも、回復基調は継続する見通し



新設住宅着工

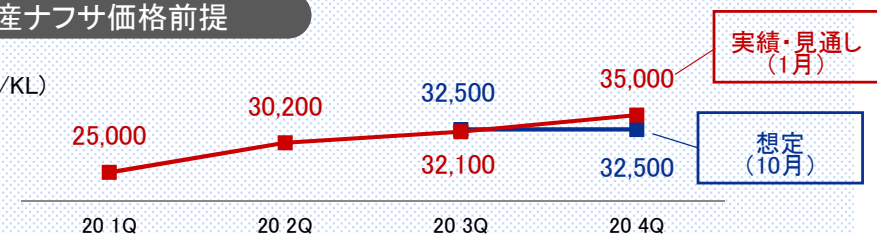
ほぼ想定通り、大幅着工減となる見通し

※ 環境LL各製品の需要発現: 住宅着工後4~6ヶ月



国産ナフサ価格前提

(円/KL)



2020年度下期見通し カンパニー別売上高・営業利益

■ 全社で営業利益計画ほぼ達成の見込み

■ 市況回復と高付加価値品拡販好調により、高機能Pを上方修正。COVID-19感染再拡大影響等織り込み、住宅・環境LLを下方修正。メディカルは計画通り

(億円)	2019年度 下期実績		2020年度 下期見通し		増減		2020年度 下期計画(10月)		差異	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
高機能P	1,620	176*	1,651	197	+31	+21	1,584	187	+67	+10
住宅	2,560	192	2,584	180	+24	▲12	2,604	190	▲20	▲10
環境LL	1,241	100	1,100	100	▲141	0	1,126	115	▲26	▲15
メディカル	383	48	413	64	+30	+16	395	64	+18	0
その他	26	▲44	26	▲52	0	▲8	26	▲56	0	+4
消去又は全社	▲103	▲8	▲100	▲13	+3	▲5	▲100	▲21	0	+8
合計	5,727	465*	5,674	476	▲54	+11	5,635	479	+39	▲3

*高機能P・エアロスペース社(19年度4Qより新規連結)無形資産の確定を受け、のれん暫定値に基づく償却額を遡及修正(2億円増額修正)

2020年度下期見通し(3Q、4Q別) カンパニー別売上高・営業利益

■4QはCOVID-19感染再拡大影響を一定程度織り込むも、増益確保の見通し

(億円)	2019年度 3Q実績		2020年度 3Q実績		増減		2019年度 4Q実績		2020年度 4Q見通し		増減	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
高機能P	812	99	864	114	+52	+15	808	78*	787	83	▲21	+6
住宅	1,133	38	1,139	36	+5	▲3	1,427	154	1,445	144	+18	▲10
環境LL	581	38	507	32	▲73	▲7	661	62	593	68	▲68	+6
メディカル	181	22	196	23	+15	+1	202	26	217	41	+14	+15
その他	11	▲22	7	▲23	▲4	▲1	15	▲22	20	▲29	+5	▲7
消去又は 全社	▲49	▲8	▲49	▲7	+1	+1	▲54	0	▲52	▲6	+2	▲6
合計	2,668	167	2,664	175	▲4	+8	3,059	298*	3,010	301	▲50	+3

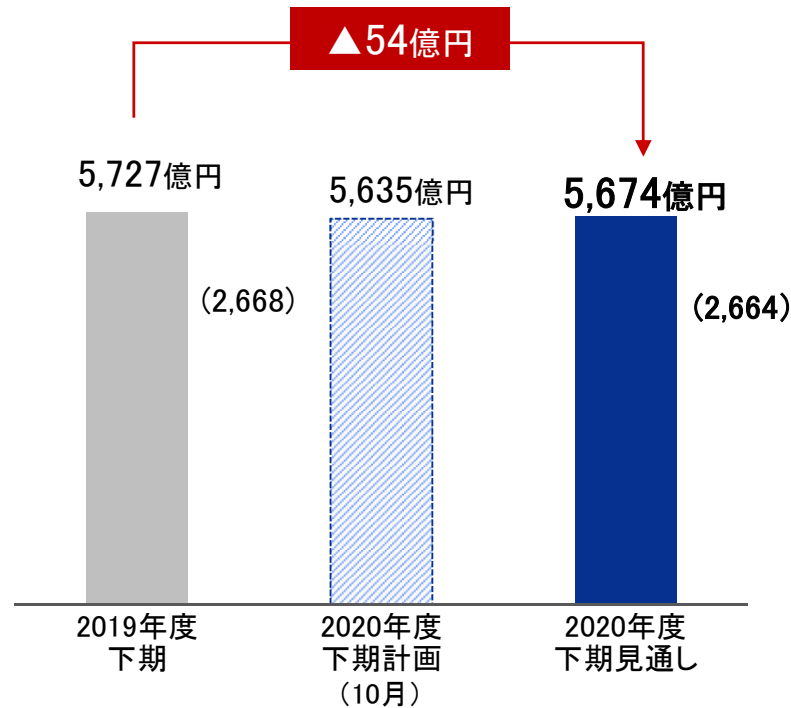
*高機能P・エアロスペース社(19年度4Qより新規連結)無形資産の確定を受け、のれん暫定値に基づく償却額を遡及修正(2億円増額修正)

2020年度下期見通し 売上高、営業利益

- 「数量・構成」減、連結増減・為替影響を、自助努力(固定費削減・CR)でオフセット
- COVID-19感染再拡大影響を、計画以上の固定費削減でカバーし、下期営業利益計画ほぼ達成の見込み

売上高

*カッコ内は3Q実績

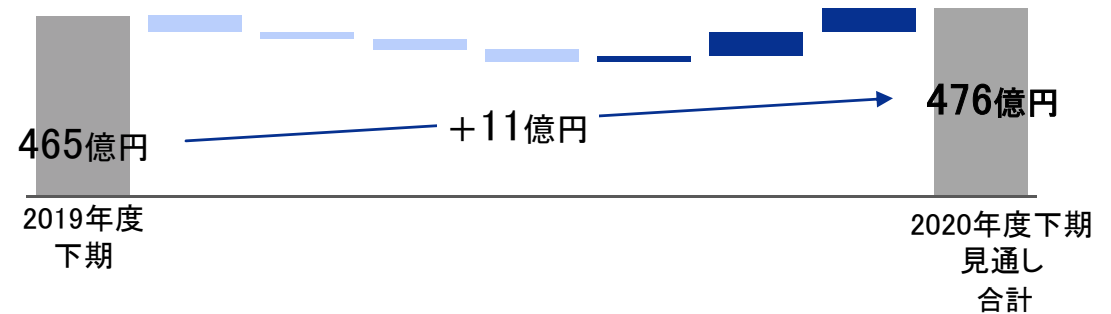


営業利益増減要因分析

	連結増減	為替	数量・構成	売値	原料	CR等	固定費	合計
計画(10月)	▲16	▲3	+17	▲23	+18	+26	▲2	+16
下期増減見通し	▲24	▲10	▲15	▲18	+8	+35	+35	+11

高機能P+29
住宅▲22
環境LL▲20
メディカル+11

高機能P+10
住宅+6
環境LL+13
メディカル+6



3Q増減	▲20	▲2	▲11	▲11	+11	+12	+29	+8
4Q増減	▲5	▲8	▲4	▲7	▲2	+23	+6	+3

2020年度通期見通し カンパニー別売上高・営業利益

■ 全社で営業利益計画達成見込み

■ 研究開発テーマの選択と集中(「その他」、全社のコスト削減(「消去又は全社」)が進む

(億円)	2019年度実績		2020年度見通し		増減		2020年度計画(10月)		差異	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
高機能P	3,224	374*	3,042	289	▲182	▲85	2,975	276	+67	+13
住宅	5,129	378	4,890	310	▲239	▲68	4,910	320	▲20	▲10
環境LL	2,374	155	2,062	125	▲312	▲30	2,088	140	▲26	▲15
メディカル	726	92	732	89	+6	▲3	714	89	+18	0
その他	50	▲97	41	▲94	▲9	+3	41	▲98	0	+4
消去又は全社	▲210	▲22	▲193	▲19	+17	+3	▲193	▲27	0	+8
合計	11,293	880*	10,574	700	▲719	▲180	10,536	700	+38	0

*高機能P・エアロスペース社(19年度4Qより新規連結)無形資産の確定を受け、のれん暫定値に基づく償却額を遡及修正(2億円増額修正)

2020年度通期見通し

- 営業利益・最終利益は計画達成見込み
- 新中期計画「**Drive2022**」初年度、次年度以降の成長基盤となる収益力強化が進む

(億円)	2019年度 実績	2020年度 見通し	増減	2020年度 計画(10月)	差異
売上高	11,293	10,574	▲719	10,536	+38
営業利益	880*	700	▲180	700	0
経常利益	872*	630	▲242	690	▲60
親会社株主に帰属する 当期純利益	592*	435	▲157	435	0

*高機能P・エアロスペース社(19年度4Qより新規連結)無形資産の確定を受け、のれん暫定値に基づく償却額を遡及修正
(営業・経常利益2億円、当期純利益3億円増額修正)

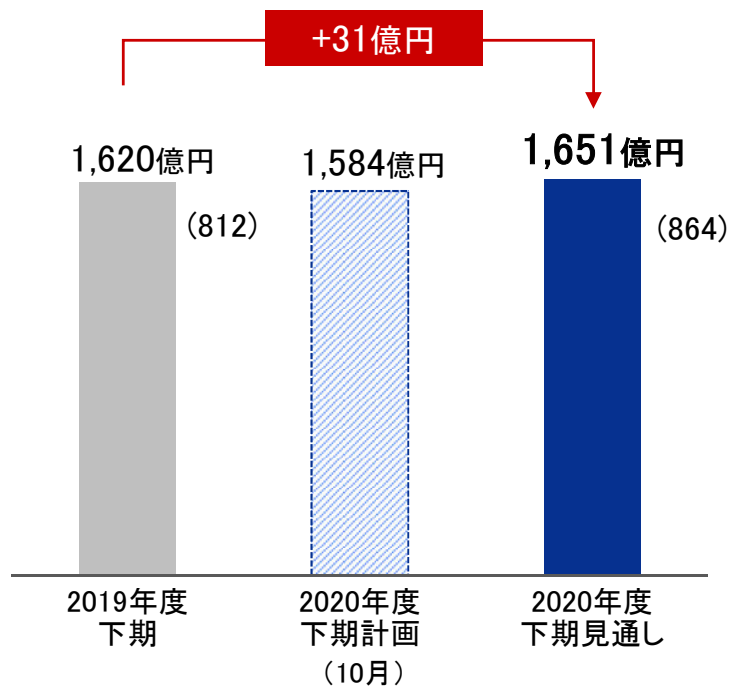
高機能プラスチックカンパニー 下期業績見通し

高機能
プラスチック

- 3Qは想定上回る市況回復と一部前倒し需要発生、高付加価値品拡販進捗。4Qは一定のCOVID-19感染再拡大影響織り込むも、下期営業利益計画を上方修正
- 「数量・構成」前年比増に転換。CR、固定費削減も計画通り進捗

売上高

*カッコ内は3Q実績



営業利益増減要因分析

	連結増減	為替	数量・構成	売値	原料	CR等	固定費	合計
計画 (10月)	▲12	▲2	+8	▲21	+16	+12	+13	+13
下期増減見通し	▲20	▲9	+29	▲16	+8	+19	+10	+21
2019年度 下期								176億円
2020年度 下期見通し								197億円
増減								+21億円
3Q増減	▲19	▲2	+23	▲9	+9	+8	+5	+15
4Q増減	▲1	▲7	+6	▲7	▲1	+12	+5	+6

2019年度 下期: 176億円
 2020年度 下期見通し: 197億円
 増減: +21億円
 限界利益: +40億円

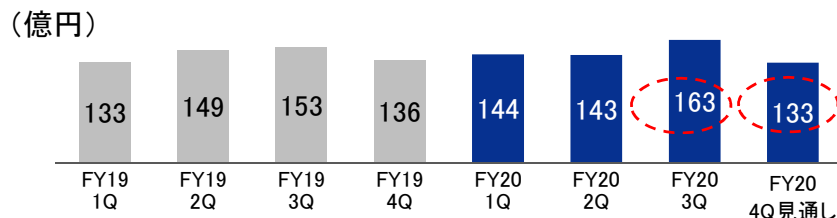
注: 2020年4Q見通し増減のうち、数量・構成(+29)はエアロスペース社3Q分(+8)と4Q分(+21)の合計。CR等(+19)はエアロスペース社4Q分CR+8と労務費+3、償却費0、経費等+7の合計。

■ 3Qは3分野とも増収増益達成。下期はエアロスペース社*マイナス影響あるも、3分野とも計画上回る見通し *19年度4Qより新規連結

戦略3分野の売上高推移と進捗状況

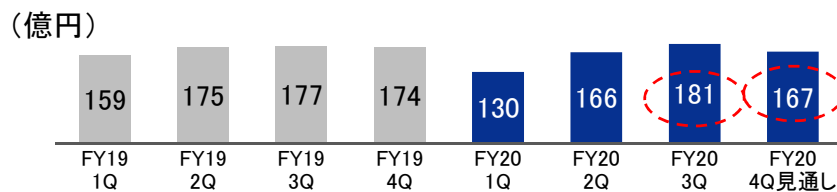
エレクトロニクス

- 非液晶向け製品の拡販好調、一部製品での前倒し需要発生により、3Qは増収・大幅増益
- 4Qは一時的な反動・在庫調整見込む



住インフラ材

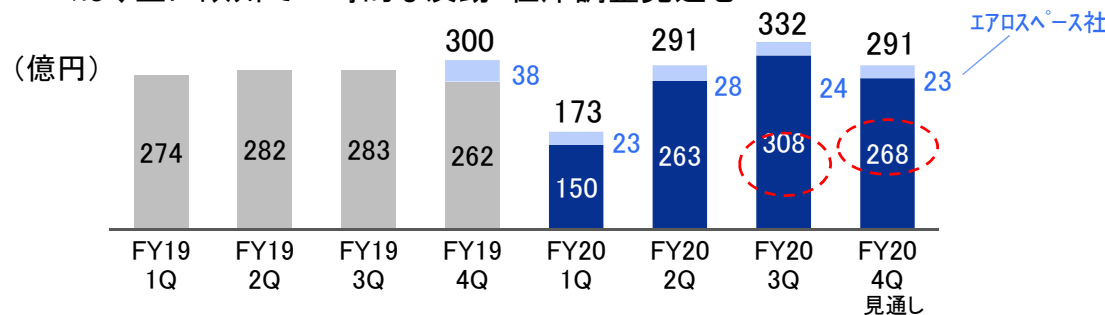
- 塩素化塩ビ樹脂はインド向け中心に順調に需要回復。4Qは一部前倒し需要の反動織り込む
- 国内耐火材料は順調に需要回復。4QはCOVID-19感染再拡大影響織り込む



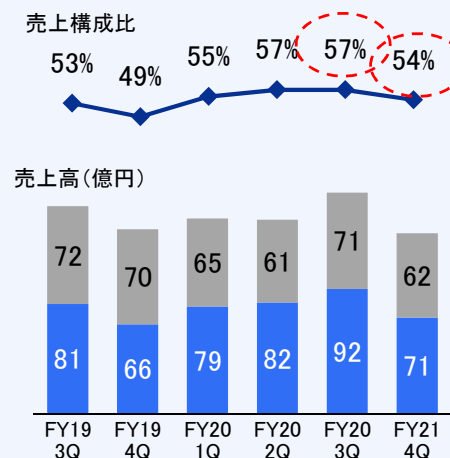
モビリティ

*前年同期比、数量ベース

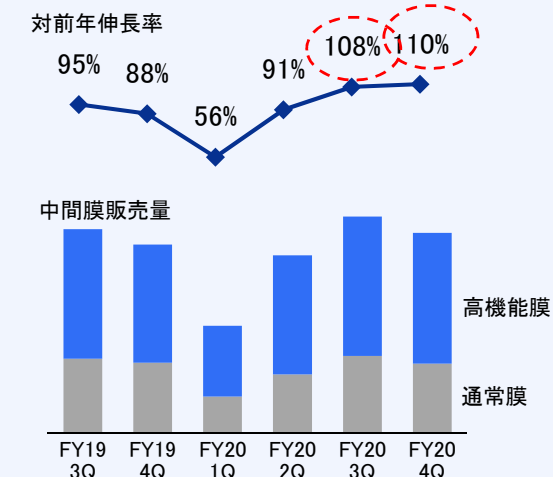
- 3Qは、想定上回るグローバル自動車市況回復により、増収増益転換
- 高機能中間膜は前年比増へ転換。HUD向けは高伸長継続(下期130%超*)
- エアロスペース社は、航空機向け需要低迷継続も、合理化は前倒しで進捗
- 4Qは、主に欧州で一時的な反動・在庫調整見込む



【非液晶分野注力】



【高機能中間膜拡販】



住宅カンパニー 下期業績見通し

3Q受注は計画通り進捗も、4QのCOVID-19影響による売上遅れ等を見込み、下期営業利益計画を下方修正

- 住宅：固定費削減と売上平準化(3Qへの売上前倒し)が進捗
- リフォーム：受注計画下方修正も、短期投入推進により売上確保

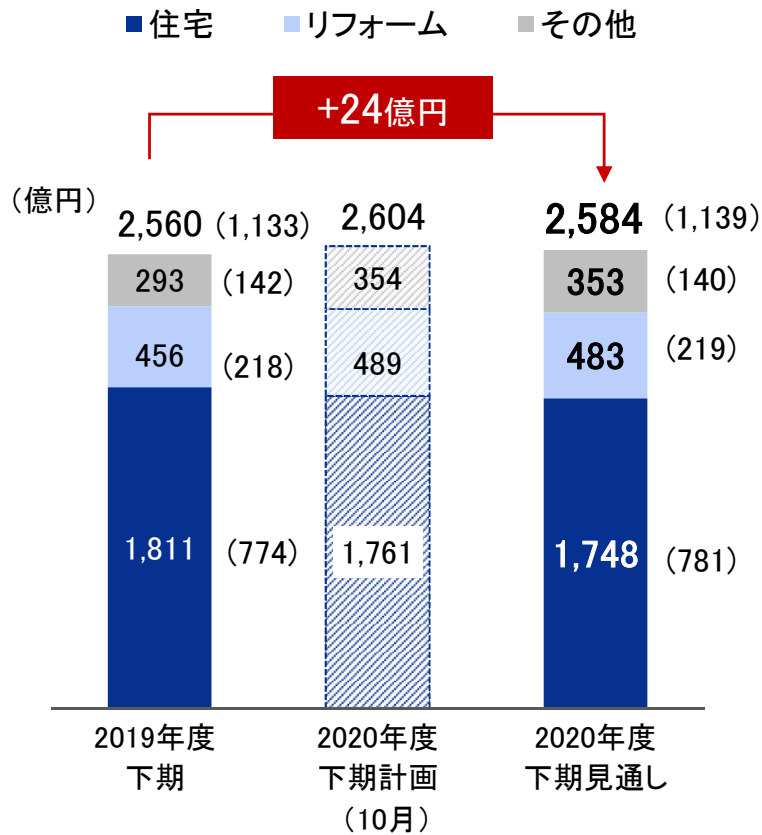
受注実績・計画

	*%は前年同期比					
	3Q	計画(10月)	4Q	計画(10月)	下期	計画(10月)
住宅受注棟数	97%	97%	98%	103%	97%	101%
リフォーム受注額*1	100%	107%	100%	108%	100%	108%

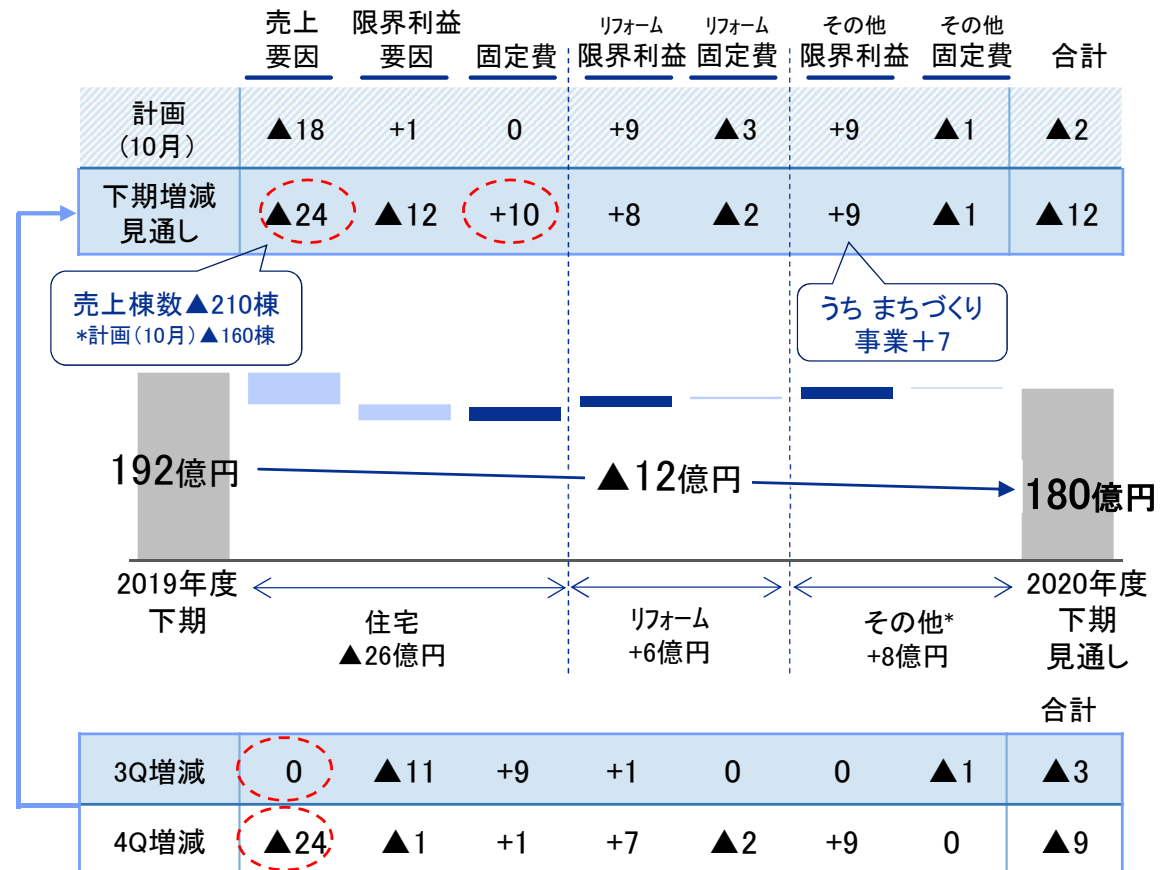
*1 ポートフォリオ組替により一部変更

事業別売上高

*カッコ内は3Q実績



営業利益増減要因分析

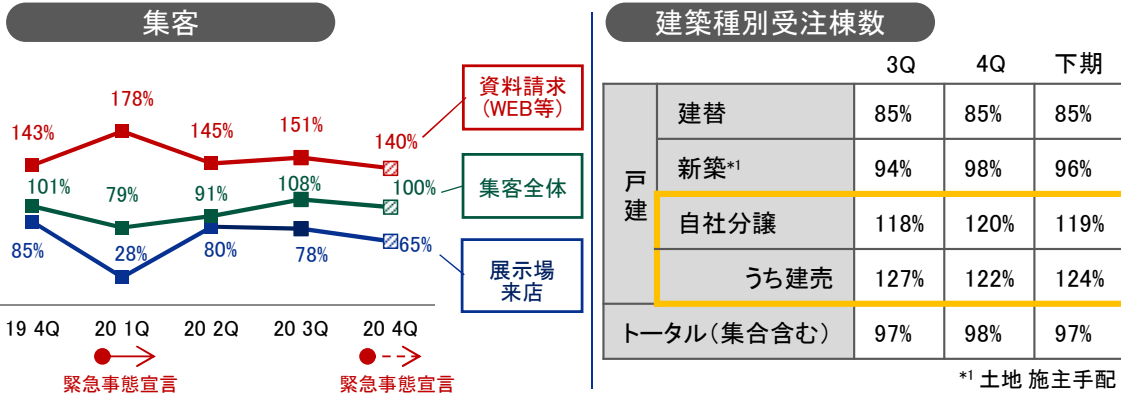


* その他 (不動産・まちづくり・海外・住生活)

3つの成長施策(営業戦力、商品戦略、土地戦略)により、下期修正受注計画を達成する

集客・受注推移

*%は前年同期比



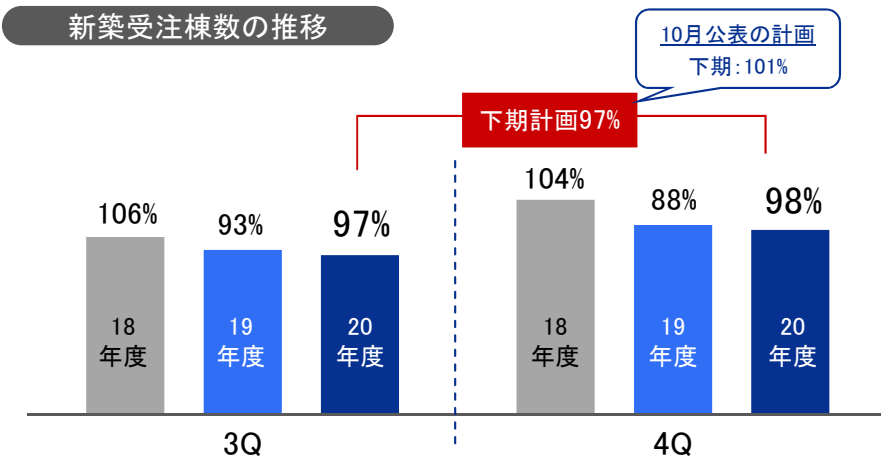
建築種別受注棟数

戸建	建築種別	3Q	4Q	下期
		建替	85%	85%
新築*	新築*	94%	98%	96%
	自社分譲	118%	120%	119%
	うち建売	127%	122%	124%
トータル(集合含む)		97%	98%	97%

*1 土地 施主手配

下期修正受注計画

*%は前年同期比



下期受注獲得施策

*前年同期比

営業戦力

- デジタルマーケティング強化 (WEB集客、オンライン商談)
- 体感型ショールーム増 (上期末: 27ヶ所 → 3Q末: 28ヶ所)

商品戦略

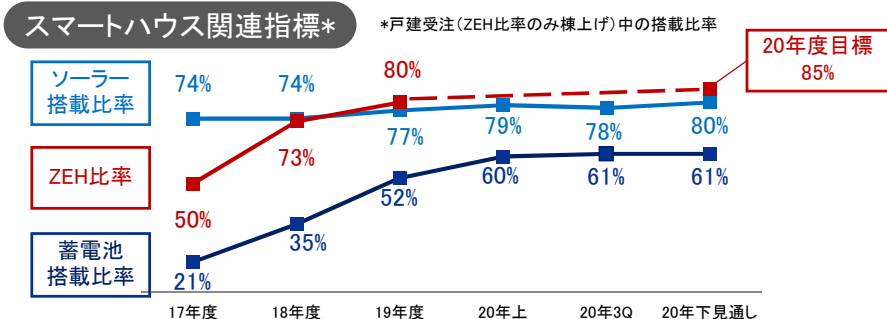
- スマートハウスの商品強化
 - 大容量ソーラー・蓄電池標準搭載「GREENMODEL」10月発売

対象顧客	建替	パルフェシリーズ	・withコロナ対応 →STAY&WORKモデル ・ZEH対応 →GREENMODEL
	ファーストバイヤー	スマートパワーステーション	スマートパワーステーションアーバン

土地戦略

- 土地在庫をさらに拡充
(3Q末販売中土地在庫区画数: 108%*、うち建売在庫: 150%*)

- WEBとリアル融合を目指し集客・折衝モデルを確立
 - 体感型ショールームのさらなる強化 (下期末: 33ヶ所)
- 大容量ソーラー・蓄電池による訴求強化
 - STAY&WORKモデルおよびGREENMODELの販売本格化
- 分譲・建売の販売強化、まちづくりモデルの地方展開開始



環境・ライフラインカンパニー 下期業績見通し

■ 国内非住宅向け需要回復遅れ、海外ロックダウン、航空機向けシート需要低迷により、下期営業利益計画を下方修正

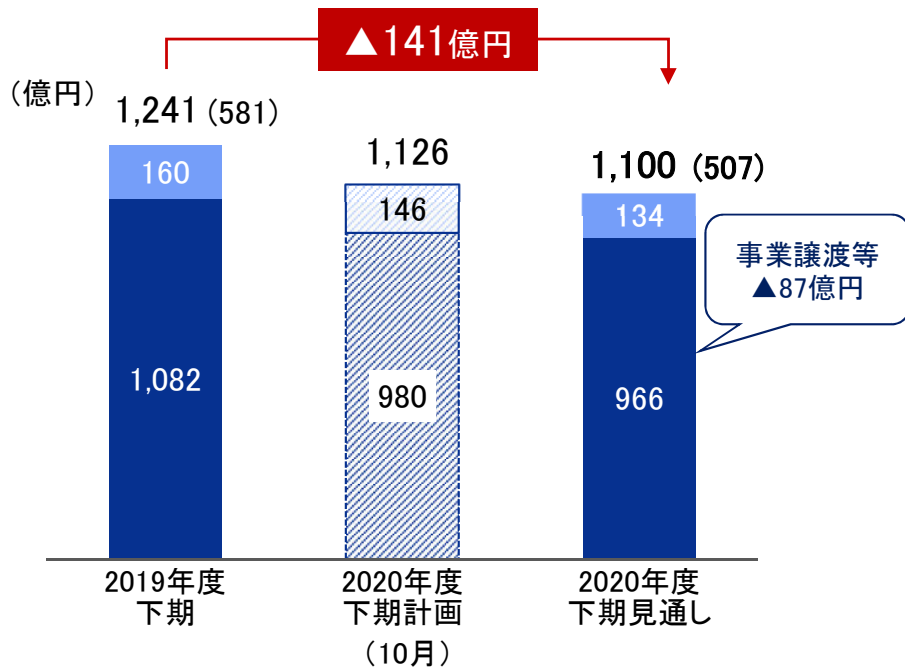
- 国内:住宅向け・公共向け堅調も、COVID-19影響により非住宅向け回復遅れ
- 海外:航空機向けシート想定以上に需要低迷、ロックダウンによる工期遅延発生(FFU枕木等)

差異(▲15)の主な要因
国内非住宅向け▲5
航空機向けシート▲7
海外工期遅延▲3

売上高

*カッコ内は3Q実績

■売上高(国内) ■売上高(海外)



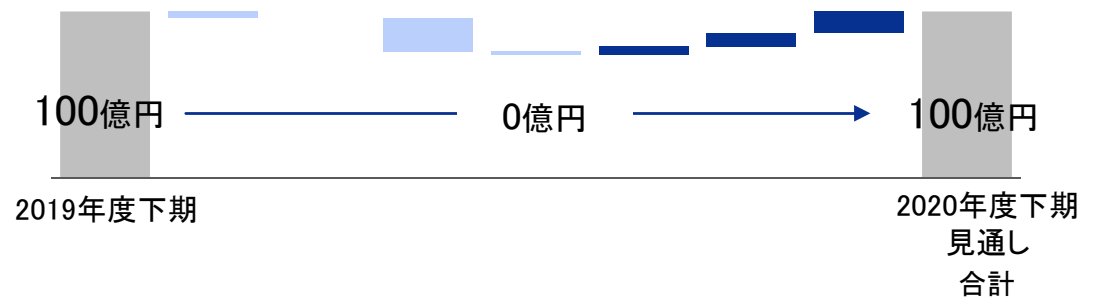
- 事業譲渡等の影響除く実質ベースでは54億円減収

営業利益増減要因分析

	連結増減	為替	数量・構成	売値	原料	CR等	固定費	合計
計画 (10月)	▲4	0	▲5	▲2	+6	+7	+13	+15
下期増減見通し	▲4	0	▲20	▲2	+5	+8	+13	0

事業譲渡

構造改革効果+7



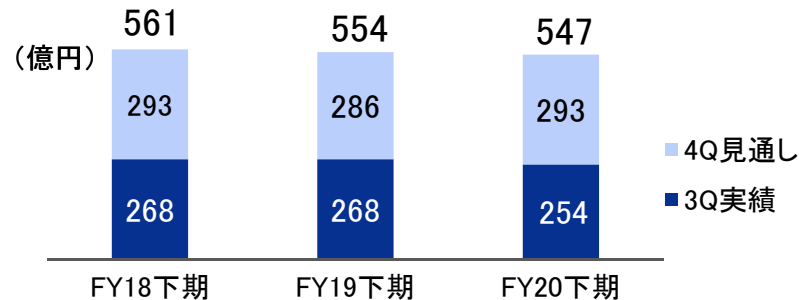
3Q増減	▲1	0	▲15	▲2	+4	+1	+7	▲7
4Q増減	▲3	0	▲5	0	+1	+7	+6	+6

■配管インフラ分野は前年並み確保。機能材料分野は市況低迷・COVID-19感染再拡大により大幅減収

戦略3分野の売上高推移等

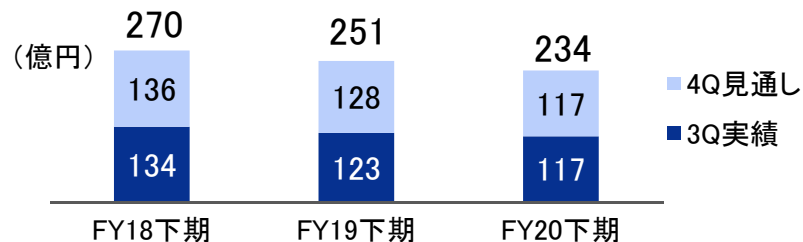
配管・インフラ

- 住宅向け堅調、公共向け好調も、前年オリンピック需要の反動、非住宅向け工期遅延により苦戦
- プラントは底打ち。管路更生海外はロックダウンによる工期遅延発生



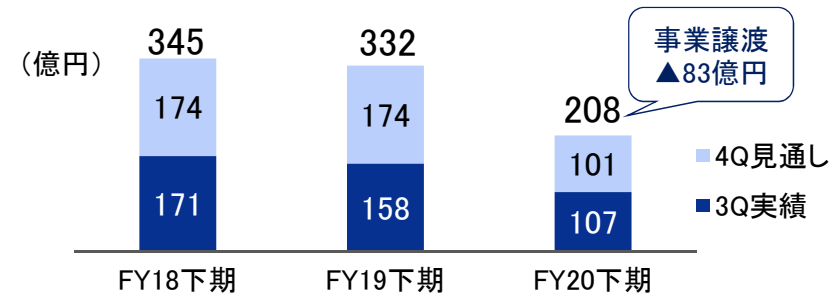
建築・住環境

- 国内着工減により減収も、高付加価値品拡販が進み収益性改善



機能材料

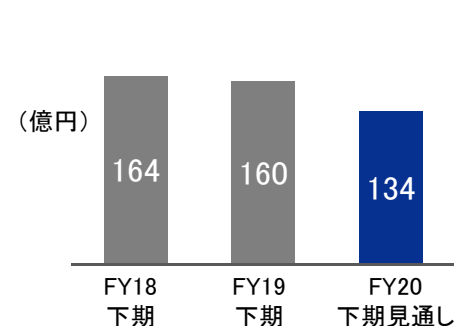
- シート: 航空機向け需要の低迷継続。他用途展開進める
- FFU(枕木用途): 主に北米で入札・工期遅延発生。欧州増産投資は計画通り実施



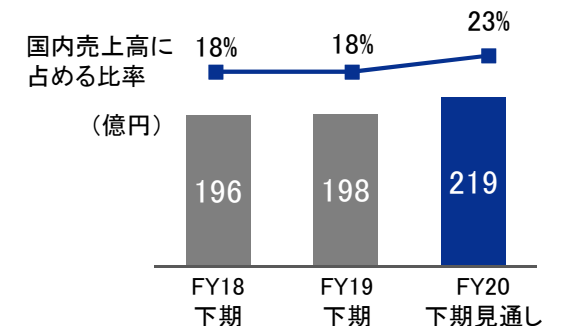
重点拡大製品・海外売上高

- 重点拡大製品は前年比増を確保

海外売上高



重点拡大製品売上高



メディカル事業 下期業績見通し

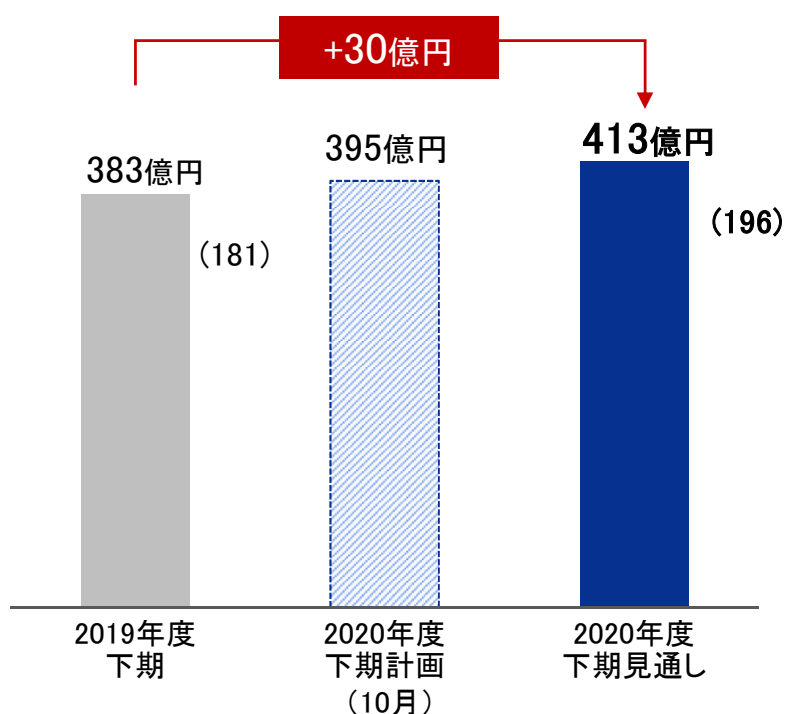
メディカル

- 外来検査数回復遅れ(検査国内)をCOVID-19検査キット拡販(検査海外)でカバー。固定費も計画以上に削減し、下期営業利益計画達成見込み
- 医療事業はやや計画未達も、増益確保見込み

売上高

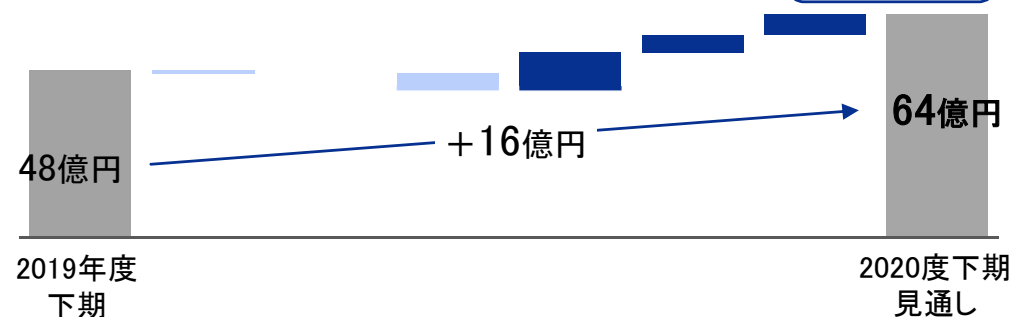
*カッコ内は3Q実績

営業利益増減要因分析



	為替	新規連結等	検査国内	検査海外	医療他	固定費	合計
計画 (10月)	▲1	0	+4	+4	+8	0	+16
下期増減見通し	▲1	0	▲5	+11	+5	+6	+16

労務費▲6
償却費▲3
経費等+15



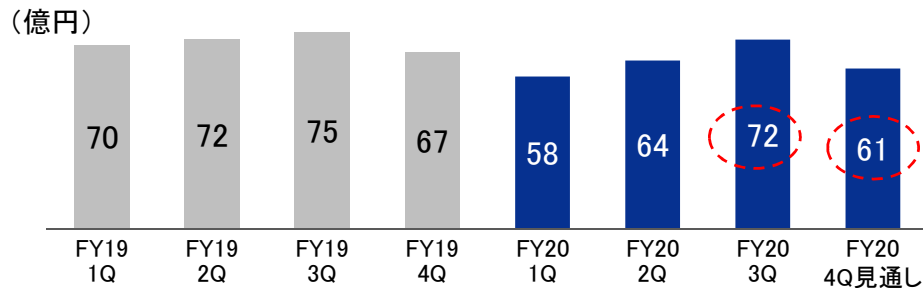
	為替	新規連結等	検査国内	検査海外	医療他	固定費	合計
3Q増減	0	0	▲3	+5	▲1	+1	+1
4Q増減	▲1	0	▲2	+6	+6	+5	+15

■ 下期は検査国内減収も、検査海外が大幅増収、医療も増収確保の見通し

事業別売上高推移と進捗状況

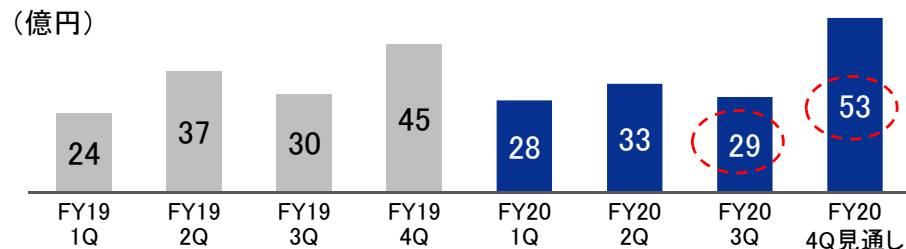
検査国内

- 3Qはほぼ計画通り進捗も、4QはCOVID-19感染再拡大による外来患者数回復遅れ、インフルエンザ検査キットの減少見込む



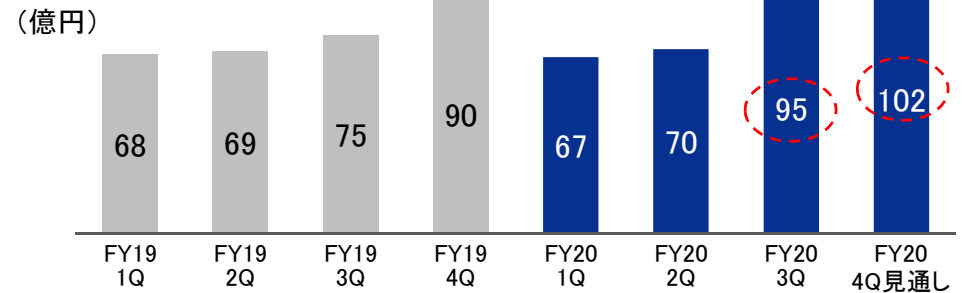
医療 (医薬・創薬支援・酵素)

- 医薬は計画通り進捗。4Qより新規原薬が収益貢献開始
- 創薬は、COVID-19影響 (試験受託一時中止等) 受け、やや計画未達となる見通し



検査海外

- 主に米国でのCOVID-19検査キット拡販により、3Qは計画超過、4Qも大幅に計画上回る見通し
- 中国での血液凝固機器・試薬等の拡販は計画通り進捗



開発・新製品等

- 成育医療領域の強化が進捗

新製品・新事業の内容

12月	国立成育医療研究センターとの技術提携による検査キット新製品発売
12月	新生児スクリーニング検査の受託開始



2020年度第3四半期
決算内容

連結対象会社数と増減影響

連結対象会社数

	2020年3月末	2020年12月末	増減
連結会社	163社	164社	増加 2社*1 減少 1社*2
持分法会社	8社	8社	増加 0社 減少 0社

*1 SEKISUI POLYMATECH EUROPE B.V.、積水バイオリファイナリー(株)

*2 SEKISUI PIPE RENEWAL B.V.

連結会社増減等による影響額

	2020年度1Q-3Q (前年同期比)	増減
売上高	+9億円	SEKISUI AEROSPACE CORPORATION*3 積水ヒノマル*4(一部事業譲渡)等
営業利益	▲55億円	

*3 2019年度第4四半期より新規連結

*4 2020年度第2四半期中に一部事業譲渡

損益概要

(億円)		2019年度1Q-3Q	2020年度1Q-3Q	増減
売上高		8,233	7,564	▲669
売上総利益		2,663	2,359	▲303
売上総利益率		32.3%	31.2%	▲1.1%
販売費および一般管理費		2,081	1,961	▲120
営業利益		582	399	▲183
持分法投資損益		16	13	▲3
その他営業外損益		▲3	▲73	▲70
経常利益		595	338	▲257
特別利益		52	-	▲52
特別損失		68	32	▲36
税引前利益		580	307	▲273
法人税等		165	89	▲76
非支配株主に帰属する当期純利益		14	11	▲3
親会社株主に帰属する当期純利益		401	207	▲194
為替レート (期中平均)	米ドル	109円	106円	
	ユーロ	121円	122円	

▲73 → 為替差損益 ▲29
▲36 → Aerospace無形資産減損 +17

貸借対照表 -資産-

(億円)	2020年 3月末	2020年 12月末	増減
現金及び預金	768	851	+82
売上債権	1,741	1,621	▲120
棚卸資産	2,172	2,341	+169
その他流動資産	237	288	+50
有形固定資産	3,373	3,486	+114
無形固定資産	1,045	948	▲97
投資有価証券	1,409	1,615	+207
投資その他の資産	313	274	▲39
資産合計	11,058	11,424	+366

棚卸資産(B/S科目)	2020年 12月末	増減
建売住宅(製品)	253	+84
造成済土地(分譲土地)	548	+42
造成中土地(仕掛品)	190	+39
工事中住宅(仕掛品)	325	+53
部材等(原材料)	39	+1
住宅計	1,356	+220
非住宅計(製品等)	986	▲50
棚卸資産計	2,341	+169

設備投資 +416
減価償却 ▲286
連結影響 +10

時価評価 +191

連結増減
▶ +11
為替影響
▶ +36
実質: +319

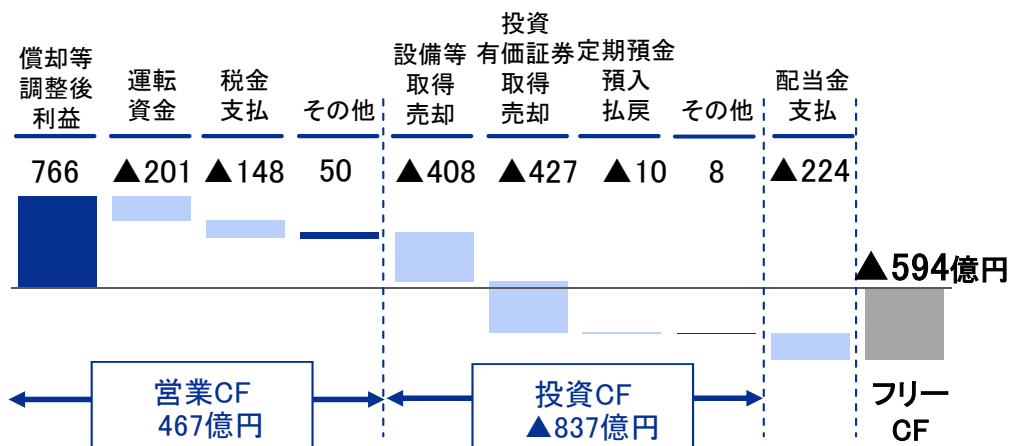
貸借対照表 -負債・純資産-

(億円)	2020年3月末	2020年12月末	増減	
無利子負債	3,539	3,243	▲296	
有利子負債	1,177	1,759	+582	
(ネット有利子負債)	(408)	(908)	(+500)	
負債合計	4,716	5,002	+286	
資本金等	2,093	2,089	▲4	
利益剰余金	4,333	4,203	▲130	当期純利益 +207
自己株式	▲441	▲434	+8	配当金支払 ▲210
有価証券評価差額金	275	425	+150	自己株式消却 ▲127
非支配株主持分	249	264	+15	
その他純資産	▲165	▲125	+41	
純資産合計	6,342	6,422	+80	取得 ▲122
負債・純資産合計	11,058	11,424	+366	消却 +127
自己資本比率	55.1%	53.9%	-1.2%	
D/Eレシオ(ネット)	0.07	0.15	+0.08	

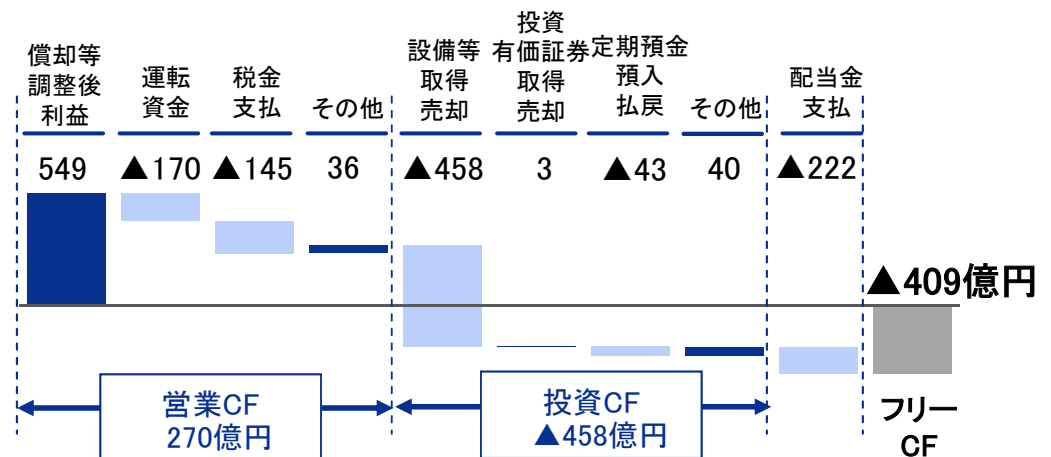
連結キャッシュ・フロー

(億円)	2019年度1Q-3Q	2020年度1Q-3Q
営業活動によるキャッシュ・フロー	467	270
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲837	▲458
財務活動によるキャッシュ・フロー	368	209
現金及び現金同等物の増減額	▲9	38
現金及び現金同等物の期末残高	694	786
フリーキャッシュ・フロー ＝営業活動CF＋投資活動CF－配当金支払	▲594	▲409

2019年度1Q-3Q フリーCF



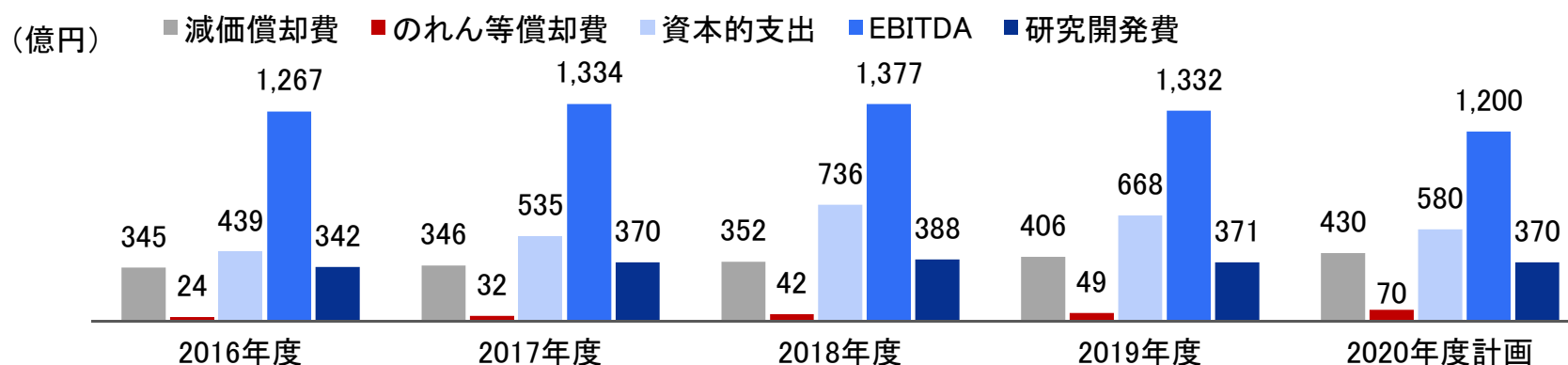
2020年度1Q-3Q フリーCF



減価償却費・資本的支出・研究開発費

(億円)	2019年度 1Q-3Q	2020年度 1Q-3Q	増減	2019年度 通期	2020年度 通期計画	増減
減価償却費	300	318	+18	406	430	+24
のれん等償却費	30	48	+18	49	70	+21
資本的支出	468	430	▲38	668	580	▲87
EBITDA	912	765	▲147	1,332	1,200	▲132
研究開発費	280	259	▲21	371	370	▲1

減価償却費・資本的支出・研究開発費推移



*1 減価償却費はM&Aによる無形資産の償却費は含まず

*2 のれん等償却費=のれん償却費+M&Aによる無形資産の償却費

*3 EBITDA=営業利益+減価償却費+のれん等償却費

**Intentionally
Blank**

住宅カンパニー実績・計画について

1. 住宅事業の主要データ		2020年度				2019年度				2018年度 通期
		上期	3Q	下期計画	通期計画	上期	3Q	下期	通期	
連結	売上高(億円)	2,306	1,139	2,584	4,890	2,569	1,133	2,560	5,129	5,067
	住宅	1,612	781	1,748	3,360	1,793	774	1,811	3,604	3,564
	リフォーム	415	219	483	898	494	218	456	950	950
	その他	280	139	353	632	282	142	293	575	553
	不動産	234	117	259	493	222	113	233	455	436
	住生活サービス	37	19	40	77	40	19	40	79	80
	まちづくり	1	1	38	39	1	1	1	2	-
	海外	6	1	10	17	10	4	9	19	20
その他	1.販売棟数(棟)	4,910	2,290	5,300	10,210	5,425	2,270	5,485	10,910	10,940
	戸建て	4,645	2,210	5,030	9,675	5,120	2,155	5,080	10,200	10,200
	ハイム	3,705	1,780	4,060	7,765	4,050	1,660	3,980	8,030	8,280
	ツーユー	940	430	970	1,910	1,070	495	1,100	2,170	1,920
	アパート等	265	80	270	535	305	115	405	710	740
	2.主なデータ									
単価<全国販社・戸建>(百万円)	31.5	31.6	-	-	31.4	31.9	31.5	31.5	31.2	
坪単価<全国販社・戸建>(万円)	87.8	88.6	-	-	85.9	87.9	87.5	86.8	84.6	
床面積(m ²)	118.4	117.7	-	-	120.6	119.8	118.8	119.7	121.7	
展示場数(棟)	439	-	444	444	447	-	446	446	430	
営業人員数(人)	2,612	2,529	2,460	2,460	2,636	2,544	2,487	2,487	2,515	
建替え比率(%)*	19%	19%	19%	19%	24%	23%	23%	23%	28%	
紹介契約比率(%)*	36%	34%	36%	36%	33%	33%	34%	34%	34%	

*建替え比率と紹介契約比率は受注ベース

住宅カンパニー実績・計画について

2. 受注状況等 (百万円)	2020年度				2019年度				2018年度			
	上期	下期計画		通期計画	上期	下期		通期	上期	下期		通期
		3Q				3Q				3Q		
期初受注残	205,400	194,500	194,500	-	219,500	217,320	217,320	-	206,900	213,900	213,900	-
伸び率	▲6%	▲10%	▲10%	-	+6%	+2%	+2%	-	±0%	+3%	+3%	-
新規受注	175,319	91,265	191,944	367,263	203,590	93,241	193,472	397,062	206,423	99,520	217,375	423,798
伸び率	▲14%	▲2%	▲1%	▲7%	▲1%	▲6%	▲11%	▲6%	+2%	+7%	+5%	+3%
請負売上高	186,219	90,065	204,649	390,868	205,770	88,861	205,392	411,162	199,423	87,920	211,775	411,198
伸び率	▲9%	+1%	±0%	▲5%	+3%	+1%	▲3%	±0%	▲1%	+9%	+2%	+1%
期末受注残	194,500	195,700	181,800	-	217,320	221,700	205,400	-	213,900	225,500	219,500	-
伸び率	▲10%	▲12%	▲11%	-	+2%	▲2%	▲6%	-	+3%	+3%	+6%	-

3. 住宅着工戸数 (戸)	2020年度				2019年度				2018年度 通期
	上期	下期計画		通期計画	上期	下期		通期	
		3Q				3Q			
住宅着工戸数	413,476	210,083	383,000	796,476	466,692	222,820	416,995	883,687	952,936
上記での持ち家着工(=A)	131,321	68,223	119,000	250,321	152,973	70,444	130,365	283,338	287,710
当社戸建販売棟数(=B)	4,645	2,210	5,030	9,675	5,120	2,155	5,080	10,200	10,200
持ち家での当社シェア(=B/A)	3.5%	3.2%	4.2%	3.9%	3.3%	3.1%	3.9%	3.6%	3.5%

*2020年度3Q以降の“住宅着工戸数”と“上記での持ち家着工”は見通し

4. 高性能住宅仕様装着比率	2020年度				2019年度				2018年度 通期
	上期	下期計画		通期計画	上期	下期		通期	
		3Q				3Q			
太陽光発電搭載	79%	78%	80%	80%	77%	78%	78%	77%	74%
蓄電池搭載比率	60%	61%	61%	61%	52%	57%	57%	55%	35%
快適エアリー	72%	74%	74%	73%	78%	75%	76%	77%	77%



スライドに記載されている見込、計画、見通しなど歴史的事実でないものは、現在入手可能な情報から得られた当社経営者の判断に基づいて作成されております。従って、実際の業績は、様々な重要な要素の変化により大きく異なる結果になりうることを、ご承知おきください。

* 本資料の億円表記の数値に関しては、億円未満を四捨五入で表示しています。